

2021 年度 日本臨床検査医学会 第 1 回理事会 議事録

日 時：2021 年 3 月 27 日（土）13：00～15：00

開催方法：Zoom 会議（ホスト会場：学会事務局）

事務所出席：村上正巳理事長、東條尚子副理事長、谷直人会計理事、山田俊幸庶務理事（4 名）

オンライン出席：宮地勇人総務理事

古川泰司、前川真人、吉田 博、田部陽子、大西宏明、下 正宗、長沢光章、矢富 裕 各理事
藤井 聡、諏訪部章、東田修二、木村秀樹、日高 洋、大澤春彦、柳原克紀 各支部理事、
福武勝幸 監事（17 名）

欠席：小柴賢洋 理事、古田 耕 監事（2 名）

I 理事長挨拶（村上正巳 理事長）

開会に先立ち、2021 年 2 月 18 日に逝去された功労会員の寺井格先生（元酪農学園大学 教授 享年：71 歳）を悼み黙祷が捧げられた。

その後、村上正巳理事長から挨拶あり理事会の議事を進めた。

I 報告事項

1. 支部報告

各支部報告の 2020～2021 年度の支部例会・総会予定、支部地方会予定、支部所属の人事変更等について報告された。

2. 各種委員会報告

①編集委員会（吉田 博 担当理事）

委員会委員交代のこと、2021 年 1 月より当会機関誌について、名称は臨床病理から日本臨床検査医学会誌に、サイズは B5 から A4 サイズに、また表紙についても変更したこと、そしてそれに伴う内規、投稿規定を改定すること、英文誌「Laboratory Medicine International」発刊準備のこと、コロナ過における特別企画 WEB 座談会の計画していること、2020 年度優秀論文賞選考予定について、そして、評議員等への査読依頼に苦慮しているため、施策を検討すること等が報告された。

②臨床検査点数委員会（東條尚子 担当理事、古川泰司委員長）

8 月 26 日、11 月 5 日に WEB 開催で委員会を行ったこと、次期診療報酬改定に向けての要望のため、評議員アンケート、コスト調査などを計画し、実施したこと、新規の提案 3 件、2020 年度診療報酬改定で対応のなかった提案ならびに、臨床検査振興協議会からの要望提案を、内保連一次提案として対応したこと、日本医師会・疑義解釈委員会（月 2 回開催）から、供給停止予定の体外診断薬検討依頼通知があった際には、委員会で稟議のうえ意見回答を継続していることが報告された。

③学会賞委員会（田部陽子 担当理事）

2021 年度の活動計画、学会賞選考日程が報告された。

④ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事、大西宏明 委員長）

臨床検査のガイドライン JSLM2021 の発行を目指し、2021 年 3 月を原稿締め切り、4 月～6 月に原稿の査読を行い、編集および出版作業予定であることが報告された。

⑤遺伝子委員会（宮地勇人 担当理事、前川真人 委員長）

11 月 12 日に WEB 会議を行った。遺伝子関連検査は、病原体核酸検査、ヒト体細胞遺伝子検査、ヒト遺伝学的検査（生殖細胞系列遺伝子検査）に分けられ、これらには、SARS-CoV-2 核酸検査、がんゲノム検査、先天性難病の遺伝学的検査や NIPT があるが、COVID-19、がん、難病の診療、出生前診断に極めて重要で診療の方向性と被験者の将来を決めてしまう臨床検査であり、精確な検査結果が保証されなければならない。

そのため、検体検査の質保証、分析的妥当性が確保された検査法・試薬・機器を検証、導入し検査工程を適確に行うこと、そして、日々の精度管理（内部精度管理）と、結果の正確性を知るための外部精度評価スキームへの参加が必要であり、さらに検査室は第三者認定を受けることが望ましく、検体検査の品質確保に関する医療法等の改正に則り、正確な結果を得るためには、臨床検査を熟知したプロが作業を真摯に行う（関与する）ことが必須であることが報告された。

⑥医療安全委員会（大西宏明 担当理事、藤井 聡 委員長）

2020年11月21日（土）、第67回学術集会にてシンポジウム「医療法改正後の情勢とこれからの臨床検査に必要なこと」（演者：中山智祥先生、古川泰司先生、舘田一博先生 座長：藤井聡、大西宏明）を開催したこと、会期中に医療安全委員会を開催し2022年度の委員会企画等について検討したこと、医療事故調査制度管理者・実務者セミナー（e-learning）に藤井委員長が参加したことが報告された。

⑦チーム医療委員会（田部陽子 担当理事）

在宅医療でのチーム医療における臨床検査専門家の役割について継続協議すること、医療機関内でのパニック値への対応促進を図る働きかけを進めることが報告された。

⑧ワークライフバランス委員会（山田俊幸 担当理事、田部陽子 委員長）

臨床検査専門医取得に関するサポート活動を継続すること、ハンズオンセミナーのWEB開催計画、2021年度学術集会でのワークショップを企画すること、そして、新たにWG「臨床検査医 交流・向上ワーキンググループ」を設置して、(1)市中病院の一人臨床検査（専門）医の活動の参考になるような提案を行う、(2)臨床検査（専門）医の地位向上を目指す、(3)臨床検査専門医を目指す先生方に魅力的なキャリアプランを提示する等を目的に、WEBセミナーを開催し情報を提供するとともに臨床検査（専門）医の交流の機会を設けるよう活動することが報告された。

⑨新型コロナウイルスに関するアドホック委員会（柳原克紀 委員長）

「新型コロナウイルス検査の使い分けの考え方（改訂版）2021年1月27日」の提言をまとめ、ホームページ、学会誌に報告したこと、また、これまでの提言について必要であれば、アップデートすることが報告された。

⑩臨床検査専門医認定試験実行委員会（東田修二 実行委員長）

2月20日（土）に第1回試験委員会・試験実行委員会 合同会議をWEB会議で開催し、第1回機構専門医・第38回学会専門医試験の試験当日の運営、問題作成などについて討議したこと、試験は従来の土日の2日ではなく日曜1日で行うこと、日程は、関連する予定を考慮したうえ、オリンピックの海外観戦者を受け入れられないため、8月22日（日）、8月29日（日）を候補日としたこと、筆記試験はMCQ100問（5科目14問+2科目15問）、実技試験については、血液学はノートPCを用いバーチャルスライド、面接以外の5科目は動画等を用い全員同時進行で行うこととしたことが報告された。

⑪国際委員会（宮地勇人 担当理事）

ASCPaLM 2020は、2020年10月7日-10日、インドネシア：バニュワングで開催予定であったが、コロナで延期となり、2021年1月16日に、総合テーマ：「COVID-19との闘いに向けた団結：臨床検査（臨床病理）領域の挑戦」でWEB開催された。日本からは、シンポジウム1「COVID-19との闘いにおける臨床検査医の役割」（モデレータ：小柴賢洋兵庫医大教授、演者：宮地勇人東海大教授）シンポジウム2「COVID-19 パンデミックにおけるレジデント・プログラム」（下澤達雄国際医療福祉大教授）を講演した。

理事会が開催され、宮地理事はPresidentを退任しIPP(Immediate Past President)に就任した。新Presidentには、韓国のProf. Gye-Cheol KWONが選任され就任した。

2018年から協議されているレジデントの教育交流プログラムについて、国際医療福祉大学がウェブR-CPCに基づく教育コースを引き受け、全体カリキュラムはインドネシアが作成することとなった。

KSLM（韓国臨床検査医学会）から Asian Symposium for LMCE 2021（日程：9/30-10/2、場所：韓国インチョン）のシンポジスト推薦依頼あり三枝淳先生（神戸大病院検査部部長）を推薦した。以上が報告された。

⑫標準化委員会（前川真人担当理事）

アルドステロン測定試薬の供給停止と日本内分泌学会の対応指針について、本学会会員へ情報提供したい旨、提案があり、ホームページ掲載、会員配信することが報告された。

3. 第 67 回学術集会報告（岩手 2020/11/19(木)～11/22(日)、諏訪部章 会長）

2020 年 11 月 19 日（木）～22 日（日）、現地（アイーナ（いわて県民情報交流センター））と WEB のハイブリッドで、諏訪部章会長（岩手医大）のもと、テーマ「人工知能 [AI] 時代の臨床検査」として開催された。一般演題数は 297 演題（デジタルポスター 297）、参加者数は（一般会員 1,034 名、非会員 230 名、大学院生 49 名、学部生 14 名、招待者 182 名）合計 1,509 名（うち現地参加者 208 名）であった。会計収支差額は 250 万円程度となる予定であること等が報告された。

4. 第 68 回学術集会報告（富山 2021/11/11(木)～11/14(日)、北島勲 会長）（山田俊幸 庶務理事）

2021 年 11 月 11 日（木）～14 日（日）に、富山国際会議場、富山市民プラザにおいて、北島勲会長（富山大）ならびに仁井見英樹副会長（富山大）のもと、テーマ「学術的な臨床検査医学のおもしろさを広げよう！」とし開催予定であり、現時点、通常対面式とオンデマンドを組み合わせた形式を計画しており、委員会企画、特別講演として田中耕一氏（2002 年ノーベル化学賞受賞）「質量分析の臨床検査応用最前線について」、日本医学会連合加盟学会連携フォーラムは日本医学教育学会との共催で申請中であり、日本血栓止血学会と共催シンポジウムを予定している。一般演題（音声付 PPT 動画を予定）については、5 月 7 日（金）～6 月 7 日（月）に 300 題を目標に募集する予定である。以上が報告された。

5. 第 69 回学術集会報告（宇都宮 2022/11/17(木)～11/20(日)、山田俊幸 会長）

2022 年 11 月 17 日（木）～20 日（日）に、栃木県総合文化センター（メイン）、宇都宮東武ホテルグランデ（サブ）において、山田俊幸会長（自治医大）のもと、メインテーマ（案）：「地域社会に貢献する臨床検査」として開催予定であることが報告された。

6. 臨床検査専門医・管理医認定試験について（東京 2021/8-9 月）（山田俊幸 試験委員会・管理医認定試験実行委員長、東田修二 専門医試験実行委員長）

臨床検査専門医認定試験実行委員会（東田修二委員長）報告の通りであるが、学会専門医、機構専門医、管理医の 3 種類の試験を行うこととなり、試験日は 8 月下旬で検討中、会場は東京医科歯科大学医学部での予定であることが報告された。

7. 当会からの派遣委員推薦について（更新）（村上正巳 理事長）

2020 年度第 3 回理事会（2020 年 10 月 9 日）以降に推薦した委員について報告された。

①厚生労働省社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会（ICD 専門委員会）

委員：古田 耕 先生

任期：2021 年 3 月 26 日～2023 年 3 月 25 日

②日本医学会連合ガイドライン検討委員会

実務担当：柳原克紀 先生

推薦日：2020 年 10 月 5 日

③臨床検査振興協議会（リーダー：前川真人 先生）

・遺伝子関連検査に関する小委員会

委員：横田浩充 先生（慶應義塾大学）、大西宏明 先生（杏林大学）

期間：2021 年 1 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

・感染症対策に関する小委員会（仮称）（リーダー：柳原克紀 先生）

委員：仁井見英樹 先生（富山大学）、鈴木広道 先生（筑波大学）

期間：2021年1月1日～2022年3月31日

④日本臨床検査同学院 遺伝子分析科学認定士制度審議会

委員：横田浩充 先生 継続（慶應義塾大学）

任期：2021年1月1日～2022年12月31日

⑤中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）診断基準検討委員会(外部有識者)

委員：吉田 博 先生

任期：2021年4月1日～2022年3月31日

⑥ASCPaLM

Immediate Past President：宮地勇人 先生

2021年1月1日～

8. 専門医関連事項について（山田俊幸 専門医 担当理事）

日本専門医機構基本領域臨床検査専門医認定試験の流れについては、各施設の専攻医から提出された書類を審査・判定する。一方、専攻医は願書を提出する。機構に、申請された専攻医の研修修了審査結果を報告、その後、機構より研修修了認定書が発行されるが、これは5年間有効となる。

機構専門医の更新の必須単位として多様な地域における診療実績として、5年間に一度地域で従事するという必須の実績単位が、当初、検討されていたが、現実的には難しいとなった。ただ、当領域もそういった姿勢は示すべきとは考える。

2021年1月1日付専門医更新の結果は、対象者102名（機構専門医：64名、学会専門医：22名+2名予定、名誉専門医：1名予定、保留：3名、未提出：9名、逝去：1名）であった。以上が報告された。

9. 2021年度学会賞：功労賞・河合忠賞推薦依頼について（村上正巳 理事長）

学会賞・功労賞に関する規定により、功労賞の対象者は、名誉会員または功労会員とし募集は行わない。功労賞の選考は理事会で行うということより、7月30日期日で適切な候補者の推薦依頼がなされた。

10. 2021年度からの功労会員、評議員の推薦依頼について（村上正巳 理事長）

・功労会員の資格要件、各支部の功労会員該当者が報告され、支部より、9月下旬までに本人の承諾を得たうえでの功労会員推薦が依頼された。

・評議員の資格要件、支部正会員の10%の評議員候補者定員数が示され、9月下旬までに、都道府県別、所属機関別に偏らないよう検討のうえでの推薦依頼がなされた。

11. 日本医学会連合 Japan CDC 創設の活動報告について（宮地勇人 総務理事、当会 Japan CDC 創設に関する委員会 委員）

日本医学会連合は、新型コロナウイルス感染症パンデミック対応のため、Japan CDC（仮称）創設に関する委員会（第二次）を創設し活動成果として、中長期的視野に立った抜本的な体制づくりのため「健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用並びに人材支援組織の創設（2021年1月）」の提言を行った。この提言を、より実効性のあるものとするため、新型コロナウイルス感染症対策に資する情報発信を行うワーキンググループを設置することとなり、ワーキンググループに対してエビデンスの主要課題（検討すべきテーマ及びクリニカルアクション）と、「ワーキンググループメンバー候補者の推薦についてのアンケート依頼があった。本件について、評議員に案内して意見を伺うこととなった。

12. 日本臨床検査同学院報告（宮地勇人 同学院 理事長）

2020年10月から2021年3月初旬までの報告がなされた。

・2020年度一級臨床検査士認定試験は、19名が受験し血液学1名、免疫血清学1名が合格した。

・2021年度二級・緊急臨床検査士資格認定試験は、コロナの影響で延期した2020年の受験予定者を対象として、二級試験は2021年6-8月に、緊急試験は7月4日（日）に実施予定。

・2020年度遺伝子分析科学認定士資格認定試験は、10月に研修、11月に試験を実施した。2021年度は6月に研修、試験を実施予定。

- ・2020年度 POCT 測定認定士資格認定試験は11月に実施した。2021年度は10月24日(日)に実施予定。
- ・第36回「緒方富雄賞」は2名が受賞し、11月29日(日)に贈呈式、記念講演会を開催した。
- ・第67回日本臨床検査医学会学術集会以での共催シンポジウム「病理部門の医療安全」を開催した。

13. 第31回 WASPaLM World Congress (ウヅガイ 2022/5/5(木)-5/8(日))について(村上正巳 理事長)
第31回 WASPaLM World は当初、2021年11月4(木)~7日(日)で予定されていたが、2022年5月5日(木)~5月8日(日)に延期となったことが報告された。

14. 栄研化学株式会社からの寄附金について(村上正巳 理事長、久谷直人 会計理事)

2021年2月に栄研化学株式会社より寄附金(100万円)の申し出があり、常任理事会で確認のうえ受け入れを決定し、3月中旬に送金を受けたことが報告された。

15. その他

村上正巳 理事長

- ・医療安全調査機構からの依頼について(パニック値の報告に係る死亡事例の分析まとめ)

医療安全調査機構で、パニック値情報が正確に取り上げられず大きな問題となり、その報告書作成のため、関与する日本臨床検査医学会が中心となってとりまとめをする要望があった。実際には、学会からのメンバーと医療調査機構選出のメンバーでWGを設置して検討する。「パニック値の報告に係る死亡事例の分析」提言となることが想定され、メンバー構成(案)は、臨床検査専門医2、臨床検査技師2、総合内科専門医1、救命救急医1、外科医(医療安全)1、看護師(医療安全)1、薬剤師(医療安全)1、診療情報管理士1であり、本学会として協力していくことが報告された。

III 審議事項

1. 2020年度に係わる事業報告について(村上正巳 理事長、山田俊幸 庶務理事)

事業報告書が提示され、会議、会員数、関連団体行事、事業概要として経過及び実績、活動、各種委員会活動、対処すべき課題として学会の活性化、社会が求める専門医・管理医の養成、臨床検査に関わる倫理観の向上、法人の概況(主な事業内容、社員数、役員数と氏名)等の報告があり、承認された。

2. 2020年度に係わる会計収支決算報告について(村上正巳 理事長、久谷直人 会計理事)

2020年度に係わる決算報告書として、貸借対照表、部門別の会計報告(一般会計、特別会計、アジア交流基金、学会賞基金)、監査報告書、第66回学術集会決算報告が提示された。

一般会計では、収入はJACLaSからの寄付金1,000万円はJACLaS EXPO2020中止により寄付は無しとなった。一方で持続可給付金200万円の給付を受け、第66回学術集会(岡山)から収支差額の約560万円の繰入金があった。

支出は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議等がWEB開催となり交通費、会議費の支出が減った。収入は減ったが、そういったことで支出が抑えられ、特別会計からの繰入金なしで、収支差額は500万円の黒字となった。

特別会計では、一般会計に200万円の補填を予算立てしていたが補填せずに済み、動きはなかった。

アジア交流基金では、ASCPaLM会費、第16回ASCPaLM関連費用を予算立てしていたが、ASCPaLM会費について対面で支払をしているため、2020年度は支払うことができなかった。第16回ASCPaLM関連費用は補助の必要はなかったため、動きはなかった。

学会賞基金では、学会賞寄金として積水メディカル、ロシュ・ダイアグノスティックス、シスメックスから50万円ずつで合計150万円の収入があった。学会賞副賞として、学術賞2名:100万円、検査・技術賞:該当者なし、若手研究者奨励賞4名:40万円、優秀論文賞3名:30万円、河合忠賞1名:10万円、合計180万円。国際学会奨励賞3名:30万円の支出があった。

以上が、久谷直人会計理事から報告され、福武勝幸監事より、2020年3月3日に学会事務所で会計監査を行

い、事業報告、会計書類の確認をし、理事職務遂行、会計報告書類は正しく記載し合致してのり的確であると監査報告があり、承認された。

第 66 回学術集会（岡山）収支報告があり、当会から第 66 回学術集会への補助金は 100 万円だったが、収支差額、約 560 万円の本学会へ繰り入れがあった。

なお、第 66 回学術集会计計報告は既に理事会で報告済みであるが、2020 年度に係る定時社員総会で、2020 年度会計報告と第 66 回学術集会计計報告を承認を得たうえで合算して税務申告する。なお、学術集会计計報告は、定時社員総会への報告、税務申告は会計のまとめの都合上 1 年遅れとなる。

3. 2020・2021 年度委員会委員の交代、追加について（村上正巳 理事長）

2020・2021 年度委員会委員について、編集委員会（交代 3 名、新規委員 6 名、退任委員 7 名）、統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会（新規委員 1 名）、新型コロナウイルスに関するアドホック委員会（委員追加 1 名）が提示され、承認された。

4. 選挙管理委員会の設置について（村上正巳 理事長）

2021 年度（2022・2023 年度理事、2022・2023・2024・2025 年度監事）選挙のため、細則の第 5 章 選挙管理委員会、第 14 条「理事長は、評議員または評議員経験者の中から選挙管理委員を若干名任命し、選挙管理委員会を組織する。」により、選挙管理委員会を設置するため、山田俊幸、谷直人、田部陽子各理事を委員に、福武勝幸監事をオブザーバーに指名することが提案され、承認された。

5. パニック値運用に関する提言書（案）に関するパブコメ募集について（村上正巳 理事長、田部陽子担当理事、諏訪部章 理事）

2017 年に全国検査部長・技師長会議参加施設の協力を得て、全国「パニック値」アンケート調査を実施し、「パニック値」運用についての様々な問題点を抽出し、それに対する提言書（案）を、今般、作成した。本提案書を本学会からの正式な提案とすべく、再度、全国検査部長・技師長会議参加施設の検査部長・技師長よりパブリックコメント募集を実施の提案があり、承認された。

6. 第 71 回（2024 年）学術集会长について（村上正巳 理事長）

第 71 回学術集会长について、学術集会企画委員会からの答申により、当会 7 支部のうち北海道支部、近畿支部が推薦されたことが報告され、両支部に推薦依頼がなされた。

7. 機関誌「日本臨床検査医学会誌」の表紙について（村上正巳 理事長、山田俊幸 庶務理事、吉田 博 編集担当理事）

本学会機関誌は、69 巻 1 号から臨床病理から日本臨床検査医学会誌と名称変更、B5 から A4 にサイズ変更となり、表紙のデザインも一新された。

発刊後、会員より、右下の日付、巻号、学会事務所等の情報が白抜きで見難いこと、そして、表紙図案のらせん模様は、遺伝子に特化した学会と思われ、適切な図案とは思われないという意見があった。

本件に対して、白抜き文字は、2 月号より縁取りをして対応した。図案については、大きな問題であるため、編集委員会で再検討することとなった。編集委員会では、機関誌表紙変更の内規を作成したうえで、今回の件については、広く意見を求めて、2022 年 1 月（70 巻 1 号）から表紙図案の変更を行えるように検討するとのことであった。理事会としても経過報告を受け、継続審議していくこととなった。

8. 臨床検査支援協会（ASCL）からの協力依頼について（村上正巳 理事長、山田俊幸 庶務理事）

臨床検査支援協会（ASCL）で作成する検査啓発の小冊子などについて、本学会の指導、基本的には校閲・監修の作業についての依頼があり、協力することが承認された。

9. 学協会における研究公正に関する取組と現状調査への回答について（村上正巳 理事長、古川泰司 倫理担当理事、吉田 博 編集担当理事）

研究公正の推進に資する質問紙調査の活用に関する研究先より、日本学術会議協力学術研究団体である本学会に、「学協会における研究公正に関する取組と現状」調査へのご協力依頼があり、倫理委員会、利益相反委員会、編集委員会で確認のうえ、回答することが承認された。

10. その他（山田俊幸 庶務理事）

2021 年度理事会、定時社員総会予定が報告された。

・2021 年度第 1 回理事会、定時社員総会：2021 年 3 月 27 日（土）

【2021 年度 審議会、理事会日程】

第 1 回審議会：6 月 26 日（土）14：00～16：00

第 2 回理事会：7 月 3 日（土）14：00～17：00

第 3 回理事会：10 月 16 日（土）14：00～17：00

IV 閉会の挨拶（東條尚子 副理事長）

東條尚子副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

2021 年 4 月 26 日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

理事長 村上正巳 ㊟

副理事長 東條尚子 ㊟

監事 福武勝幸 ㊟